単元計画　４年

探究課題：住みよい環境・安心安全な香々地について考えよう。

単元のねらい：　住みよい環境・安心安全な香々地について、見学や調査・体験活動を行うことで課題を見いだし、解決に必要な情報を収集し整理・分析しまとめをすることを通して、進んで地域の環境を保とうとする活動をしようとすることができる。

単元のめあて：住みよい環境や安心安全を保つ香々地について調べよう。

小単元１　１５h

【小単元１のめあて】香々地の自然や川ついて調べよう。

【課題設定】
香々地地区にある観光施設、長崎鼻や海水浴場、キャンプができ、自然の豊かな地区であることを確認し、これからの学習活動の見通しをもつ。

【体験活動】
自分たちが使った水についての知識を深めるために川へ行き、生き物を調べ、川の様子を見て水害が起こるのか疑問をもつ。

【社会】住みよいくらしをつくる

【整理分析】
体験してわかったことや、写真や資料から、気づいたこと、感じたことを出し合う。

【まとめ･表現】
香々地地区の環境を保っていくために、ゴミ問題のこと、川の水害のことが私たちの生活に関わりがあることをまとめる。

【国語】新聞をつくろう

【振り返り】
調べたこと、まとめたことを振り返り、単元２では防災学習で安心安全に暮らす香々地地区について学習することを知る。

小単元２　３０h

【小単元２のめあて】　安心安全な香々地を保つための取り組みについて考えよう。

【課題設定】
単元１で学習した「川」の水が増えると、災害を起こしてしまうことや社会科で学ぶ防災のことを学習していくことを知る。

【情報収集】
フィールドワークや防災専門家の話を聞き、わかったことから、香々地地区に起こりうる災害について考える。

【社会】自然災害から暮らしを守る。

【整理･分析】
自分たちが安心して暮らすために、どんな備えが必要なのか、自分たちがしなければならないのは何かについて話し合う。

【まとめ･表現】
これからの私たちに必要なことは何か、香々地地区で起こりうる災害についておうちの人へ伝える。

【国語】　もしものときにそなえよう。

【振り返り】
地図を見て災害が起こる場所が予測できること。非常用持ち出し袋を家庭で準備することなどがわかる。避難生活で必要なものを調べるために指定避難所の見学をする意欲を持つ。

小単元３　15h

【小単元３のめあて】　安心安全なまちにする取り組みや施設のことをまとめよう

【課題設定】
市指定避難所では防災・減災にどんな備えがあるのか予想をたて、課題を知る。

【道徳】自然と共に「このままにしていたら」

【情報収集】
指定避難所の施設に話を聞き、どのように利用されているのか、防災に対する備えなどを聞く。

【整理･分析】
わかったことをまとめ施設があると自分たちの暮らしが安心できることを話し合う。

【まとめ･表現】
施設がどんな目的で利用されているのかまとめ全校に伝える。

【振り返り】
実際の取り組みや防災施設のことを振り返る。

【単元の振り返り】（期待する姿）
情報を集めようと、メモ書きや写真を進んでとり、その説明をする。振り返りではよかった点やもう少し変えた方がよい点など、話し合うようにする。住みよいのはなぜかを考えさせ、未来の香々地を想像させる。